



晃宝小だより

第8号 令和7年12月12日

やる気 根気 思いやり ～みんなが笑顔～

発行者：福田 隆行

☆落ち葉掃きボランティアありがとうございます☆

本校は皆さんもご存じの通り落葉樹が多く、この時期になると多くの落ち葉が校地内のアスファルト舗装部分等に落ちてきます。そのままにしておくと、児童が外遊びなどの活動をする時に滑りやすくなるため危険です。外掃除の児童が頑張ってくれていますが、それだけでは毎年掃き足りない状態です。そこで、地域協議会が中心となり、11月から12月にかけて合計4回、延べ49名の方が落ち葉掃きボランティアをしてくださいました。せっかく本校児童のために朝早くから活動してくださっているので、児童との交流を持ってもらいたいと考え、今年度から児童も一緒に活動しています。例年はボランティアの方々だけが黙々と掃いてくださっていましたが、落ち葉を掃いて集めていただき、それを児童が袋に詰めるという役割分担を行うことで交流する場面が生まれました。児童の声掛けに笑顔が見られたり、落ち葉の集め方のアドバイスをしてくださったり例年にない様子が見られました。児童にとって、自分たちのために地域の方が協力してくれていることを知る貴重な機会になりました。今後も意図的に交流の機会を創出していきたいと思います。



☆校内人権週間を実施しました☆(12/1～6)

12月1日～6日の1週間を校内人権週間と位置づけ、以下に示した様々な活動とおして人権について考えました。この人権週間は「やさしさや相手に対する思いやりの心を育み、誰に対しても差別することなく、友達のため、みんなのために役立つ行動、声かけができるような児童」を育てることを目的に実施しています。

1. 担任による人権に関する本の読み聞かせや朗読
2. 人権に関する道徳授業の実施
3. 他人に優しい言動をしている友達を称賛する「すてきな友達紹介カード」の作成と放送委員会による紹介
4. 自己理解・他者理解に生かすための「リフレーミングカード」の掲示

今後も人権週間のみならず、児童が自分や他人を大切にする言動が取れるように日々の指導に励んでまいります。

☆6年生が薬物の危険について学習しました☆(12/11)

栃木県警の方を講師にお招きし、薬物乱用防止教室を実施しました。薬物は一度使用すると、脳がその刺激をまた求めてしまうこと（薬物依存）や、薬物によって一度破壊された体組織は戻らないこと、医者等で正式に処方されたお薬であっても、使用方法を守らなければ、危険な薬物になりうること（オーバードーズ）などを学びました。またロールプレイを見ることで、実際に薬物を進められた時どのように断ればよいかを学習しました。今回の学びが児童にとって有意義なものであったと振り返ることができることを願ってやみません。



学校の様子については、ホームページに掲載してありますので、ぜひご覧になってください。

晃宝小学校

